

公益事業 第14回「山」の講演会

演題：『ながら山歩きの勧め』～君の名は？鳴くまで待とうホトトギス～

仙石 富英

1. 日 時：令和4年2月26日（日）14：00～15：50

2. 場 所：コンセーレ（栃木県青年会館）

3. 主 催：（公社）日本山岳会栃木支部

共 催：（一社）栃木県青年会館

後 援：（一社）栃木県山岳・スポーツクライミング連盟

4. 講 師：刑部 節 氏

芳賀青年の家所長、栃木県立黒磯南高等学校校長等を歴任後、現在、学校法人TBC学院国際ペット総合専門学校校長・国際ファッションビューティ専門学校校長、栃木県バドミントン協会理事、日本野鳥の会栃木県支部理事等の要職に就かれている。

5. 参加者：会員12名、一般参加者 約50名 計 約60名

今回の講演会は本来であれば令和2年に開催を計画したものであったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止での問題により、3年越しにようやく開催された。講師の刑部先生には、開催に至るまで何度も延期のお願いをし、本当にご迷惑をおかけしました。また、今回の開催にあたっては、各新聞社の支局に開催案内の掲載をお願いしたが、結局、どの新聞にも掲載されず、当日どのくらいの人が来るかも掴めない状況での開催だったが、まずまずの参加者数でホッとした講演会だった。

講演会は仙石の司会、渡邊支部長のあいさつ・講師紹介により始まった。

講師の刑部先生は、教職の傍ら、野鳥の会栃木県支部の理事として活動されており、講演の中で先生の高校生時代の「生物部」でのクラブ活動での鳥との関わりからお話があり、種々の野鳥の特徴や、実際の鳴き声の録音を基に「ききなし」等野鳥の見分け方の説明があった。「ききなし」はよく知られているものもあれば、初めてのものもあり、言われてみて聞くと、その言葉のように聞こえ、これを覚えるのも鳥の種類を見分けるのに役立つとの説明があった。

山を歩いていて鳥については、鳴き声を聞くことは多いが、その姿を見極めることは結構難しく、判別のコツ、鳥の特徴などを教えていただき、参加した皆さんも大変参考になったと思われた。また、野鳥を見る（観察）際の双眼鏡やカメラ等についても説明があり、参加者の方との質疑応答もあった。私自身も家にいるときは、図鑑を手元において、庭に来る鳥を調べているが、山の入るとなかなか分かりにくく、会員や子供たちを対象に「ながら山歩き」を目的とした活動ものも良いと思われた。

講演会後は、刑部先生を囲んで懇親会が開かれ、講演会になかった話題などで盛り上がり、山の講演会を修了した。